

評価委員会議事録

第59回名古屋矯正管区教誨師研修大会

- 1 日 時 平成27年6月15日(月) 13時30分から14時50分まで
- 2 場 所 福井刑務所管理棟会議室
- 3 出席者

(1) 大会関係教誨師

福井県教誨師会会長(大会実行委員長)	林 精 應
福井県教誨師会副会長	木 津 祐 昌
福井県教誨師研修大会会計	太 田 善 治
福井県教誨師研修大会全体討議座長	牧 野 豊 丸
福井県教誨師研修大会進行	日下部 求
福井県教誨師研修大会進行	熊 谷 二 郎

(2) 関係施設職員

福井刑務所企画首席矯正処遇官	檜 崎 高 志 氏
福井刑務所教育統括処遇官	木 村 勝 廣 氏
福井刑務所教育専門官	牧 野 哲 弘 氏

4 議事内容

(1) 研修大会の実施状況について

研修大会の運営については、関係者が協力し合って行うことができおり円滑に実施することができた。また、研修テーマの基ついた基調講演や全体討議を行うなど、一貫性を保って研修を行うことができ良好であった。

基調講演では、新たな教誨師の心の通い合う方向性を見出し、民間の篤志家である宗教家としての位置付けを感じ取ることができた。

(2) 改善効果について

全体討議などにおいて、教宗派の垣根を越えてお互いの考えや意見を率直に述べることができ、教誨活動に対する共通認識を得ることができた。

各教宗派の教義に基づいて、被収容者とともに語らい、心を通わせながら、宗教的情操を育てるとともに、再犯罪防止に向けた取組を踏まえつつ教誨活動を続けていく概念を養成することができた。この点については、即効性を求めることはできないが、各教誨師が自己研さんを重ねることが重要な点であることを認識してもらうことができた。